

対 策 名	蒸気配管の継手・バルブ・スチームトラップ等の管理・更新										
対 策 タ イ プ	運用改善										
対 象 業 種	共通要素設備										
対 象 工 程 等	蒸気システム										
対象技術の概要	<p>【目的】 蒸気配管の継手、バルブ、スチームトラップ等の蒸気漏れが生じやすい箇所の保守点検を適切に実施し、蒸気漏洩を防止する。</p> <p>【概要】 図1にスチームトラップの診断結果を示す。全体の17.8%が蒸気漏れ不良（メーカー調べ）となっており、重要な確認対象である。</p> <div data-bbox="691 837 1177 1115" data-label="Figure"> <table border="1"> <caption>図1. スチームトラップの診断結果</caption> <thead> <tr> <th>状態</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>正常</td> <td>72.6%</td> </tr> <tr> <td>不良</td> <td>27.4%</td> </tr> <tr> <td>蒸気漏れ</td> <td>17.8%</td> </tr> <tr> <td>詰り</td> <td>9.6%</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>■確認方法 ・目視、音による蒸気漏れの有無の確認 ・サーモグラフィ等によるフランジ部等の異常高温部の確認</p> <p>■実施方法 ・配管の継手、バルブからの蒸気漏れは確認した後、速やかにボルトの増し締め、ガスケットの交換、伸縮継手の交換等を実施する。 ・スチームトラップは消耗品であり、定期的交換を心かける。</p>	状態	割合	正常	72.6%	不良	27.4%	蒸気漏れ	17.8%	詰り	9.6%
状態	割合										
正常	72.6%										
不良	27.4%										
蒸気漏れ	17.8%										
詰り	9.6%										
実 施 上 の 留 意 点	<p>・配管、バルブ等のフランジ接続部の蒸気漏れは、主に配管の膨張、収縮によるボルトの緩み、ガスケットの劣化が原因である。 ・スチームトラップは台数の多さ、対策がわからない等の理由で放置されやすい。</p> <div data-bbox="691 1594 1182 1906" data-label="Image"> </div> <p>図2. スチームトラップとバルブ</p>										
出 典	・C02削減ポテンシャル診断ガイドライン（ポケット版）										

